

令和5年9月7日14時00分
近畿地方整備局
福井河川国道事務所

国道158号 ^{ちゅうぶじゅうかん}中部縦貫自動車道 ^{おおの あぶらさか}大野油坂道路(勝原IC^{かどはら}～九頭竜IC^{くずりゅう})
令和5年10月28日(土)に開通します

国道158号 ^{ちゅうぶじゅうかん}中部縦貫自動車道 ^{おおのあぶらさか}大野油坂道路(延長35.0km)において、
^{かどはら}勝原IC～^{くずりゅう}九頭竜IC間の延長9.5kmが令和5年10月28日17時に開通します。
これにより、観光シーズンを迎える九頭竜の紅葉へのアクセス等が見込まれます。
また、開通を記念して、地元関係者の方々をお招きし、開通式を開催します。

■開通情報

○開通区間:^{ちゅうぶじゅうかん}中部縦貫自動車道 ^{おおのあぶらさか}大野油坂道路 延長9.5km(^{おおの}大野市西勝原^{にしかどはら}～^{おおの}大野市貝皿^{かいざら})
^{かどはら}勝原IC～^{くずりゅう}九頭竜IC

○開通日時:令和5年10月28日(土)17時

■主な整備効果

- 高速道路ネットワークの形成
- 災害時の代替路の確保
- 異常気象時の交通の確保
- 観光周遊機能の向上
- 高度医療機関へのアクセス向上

■開通式典について

- 日時:令和5年10月28日(土)13時開式(12時受付開始)
- 場所:^{おおのあぶらさか}大野油坂道路 ^{かどはら}勝原IC(^{おおの}大野市西勝原地先^{にしかどはら})

<取 扱 い>

<配 布 場 所>

近畿建設記者クラブ
福井県政記者クラブ

大手前記者クラブ

<問 合 せ 先 >

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所
副所長 ^{ぬま}沼 ^{かつお}勝雄 (内線 205)
計画課長 ^{おおもり}大森 ^{こういち}功一 (内線 261)
TEL 0776-35-2661 (代表)

事業の概要

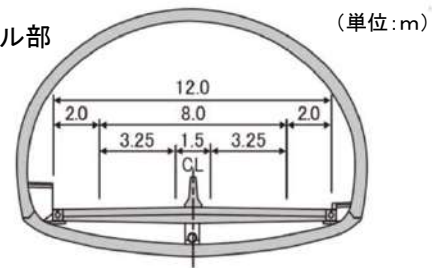
中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格幹線道路(自動車専用道路)であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としています。

大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、異常気象時の交通の確保、文化・地域の資源を生かした地域の活性化を目的とした自動車専用道路です。

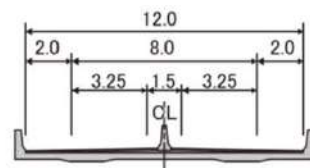
【事業の概要】

区間	大野油坂道路 【大野東・和泉区間】 (起) 福井県大野市下唯野 (終) 福井県大野市貝血
道路延長	14.0km
構造規格	第1種4級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	13.0m

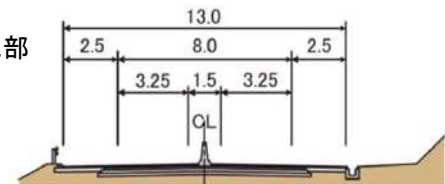
●トンネル部



●橋梁部



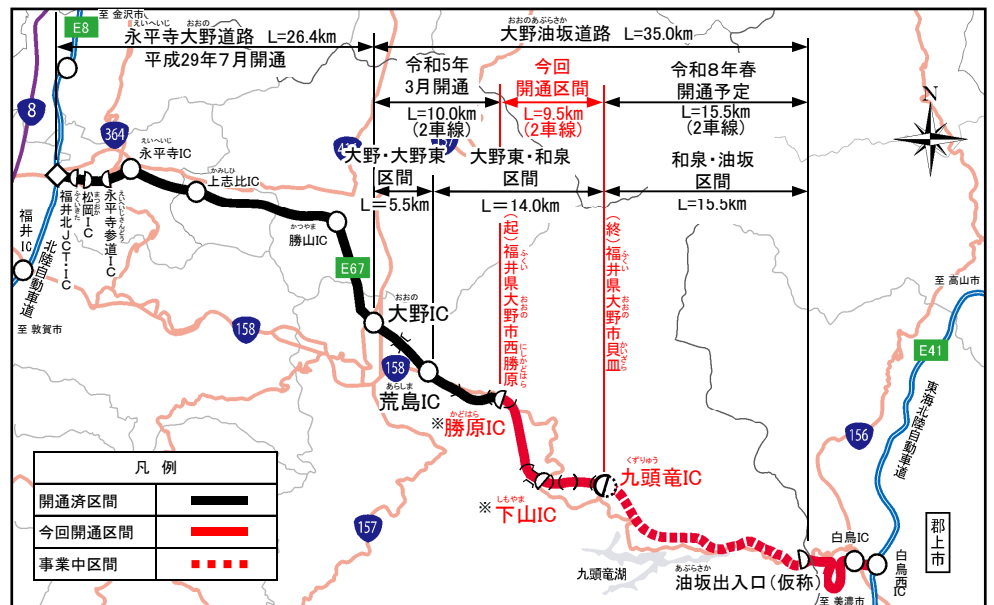
●土工部



【主な事業の経緯】

区間	【大野東・和泉区間】
事業化	平成20年度
用地着手	平成24年度
工事着手	平成26年度

【位置図】

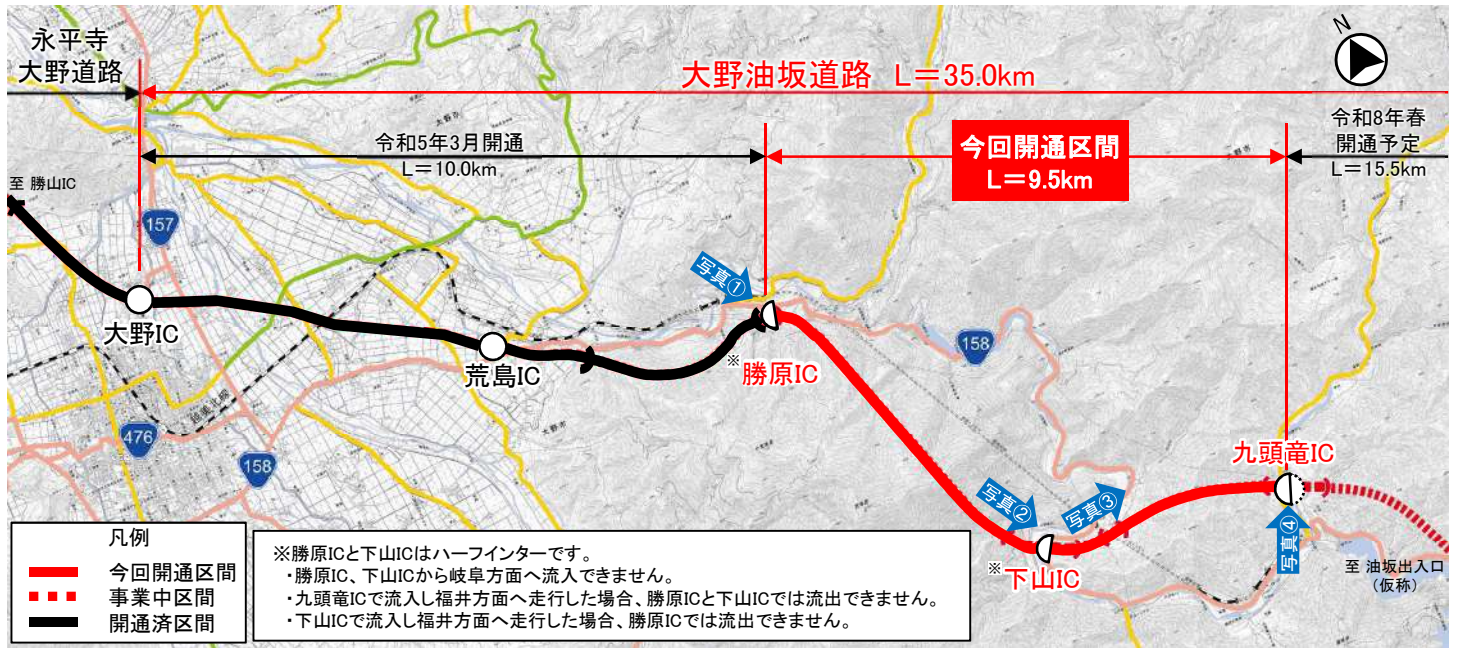


凡例	
中部縦貫自動車道	
開通済区間	——
今回開通区間	——
事業中区間	----
その他の高速道路	
開通済区間	——

凡例	
開通済区間	——
今回開通区間	——
事業中区間	----

- ※勝原ICと下山ICはハーフインターです。
- ・勝原IC、下山ICから岐阜方面へ流入できません。
- ・九頭竜ICで流入し福井方面へ走行した場合、勝原ICと下山ICでは流出できません。
- ・下山ICで流入し福井方面へ走行した場合、勝原ICでは流出できません。

現在の現場状況

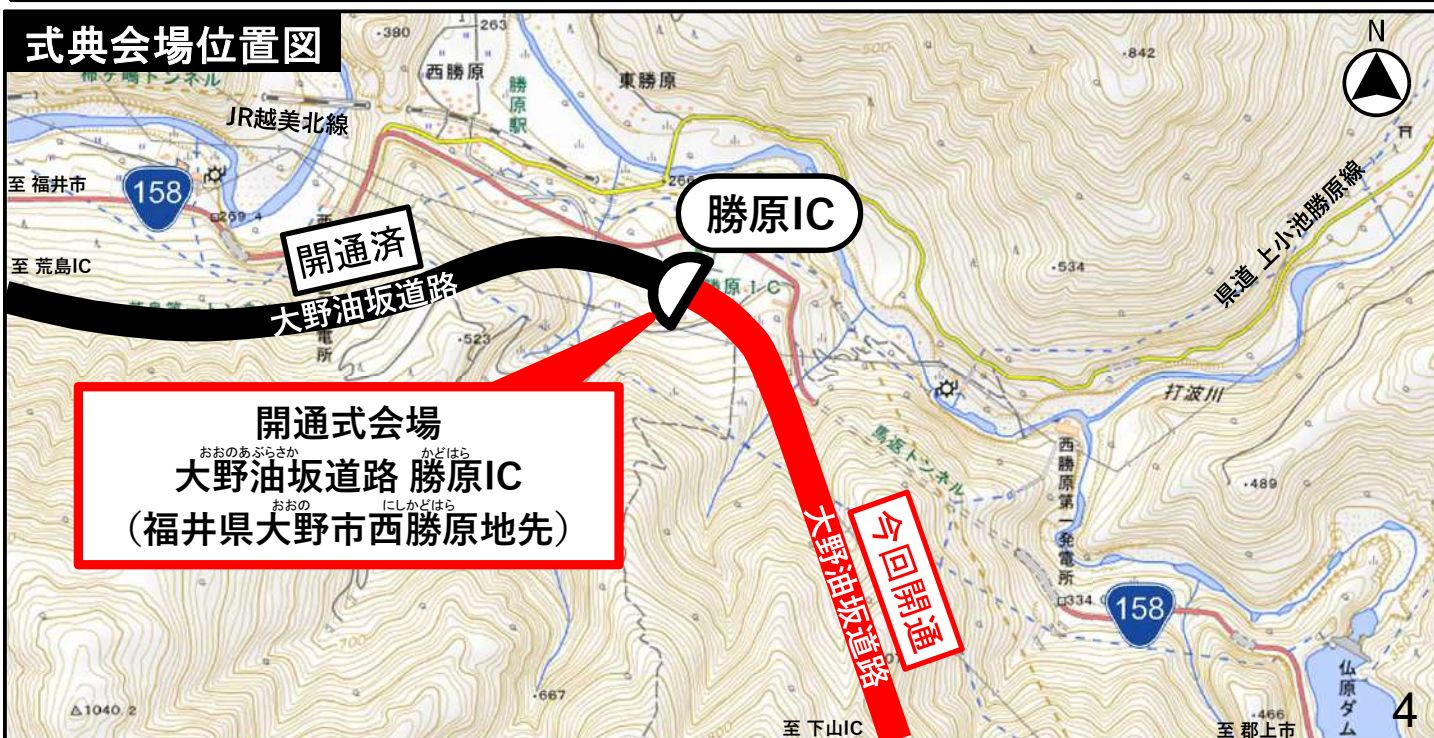
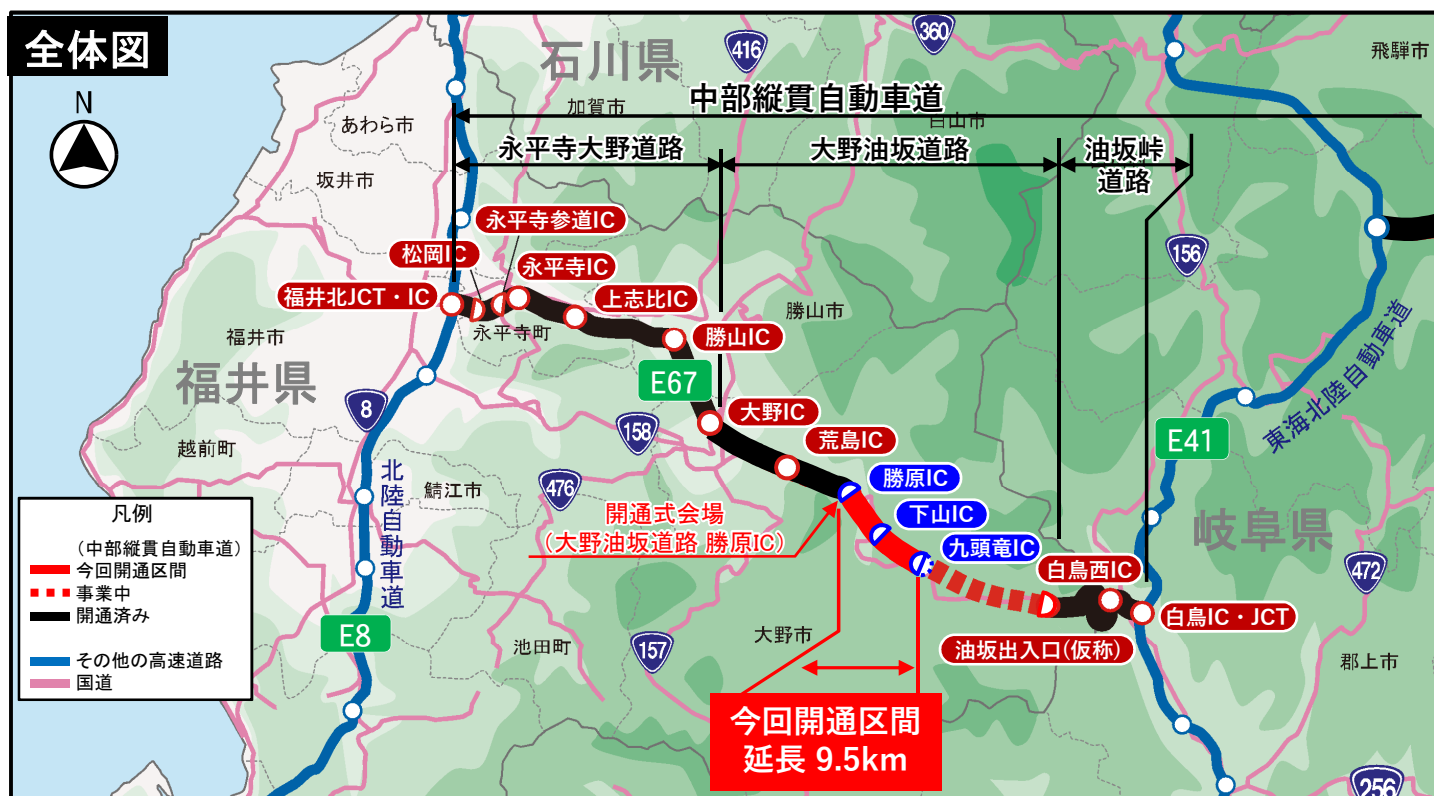


大野油坂道路(勝原IC～九頭竜IC間) 開通式典 【別紙1】

○式典概要

1. 日 時 令和5年10月28日(土) 13時00分開式(12時00分受付開始)
おおのあがらさか かどはら おおの にしかどはら
2. 場 所 大野油坂道路 勝原IC(大野市西勝原地先)
3. 共 催 国土交通省近畿地方整備局、福井県、大野市
4. 取 材 報道関係者で取材希望の方は【別紙2】「報道関係者へのお知らせとお願い」をご参照ください。

〈開通式会場〉 13:00開式(12:00受付開始)
「大野油坂道路 勝原IC」(福井県大野市西勝原地先)



報道関係者へのお知らせとお願い

◆^{おおのあぶらさか}大野油坂道路(^{かどはら}勝原IC～^{くずりゅう}九頭竜IC)開通式

日 時 令和5年10月28日(土) 13時00分開式(12時00分受付開始)

会 場 ^{おおのあぶらさか}大野油坂道路 ^{かどはら}勝原IC
^{おおの}大野市西^{にし}勝原^{かどはら}地先

タイムスケジュール(予定)

12:00 受付開始

13:00 開式

共 催 国土交通省近畿地方整備局、福井県、大野市

◆^{おおのあぶらさか}大野油坂道路(^{かどはら}勝原IC～^{くずりゅう}九頭竜IC)開通式に関する取材について

・取材にあられる報道関係者は、以下の事項に十分留意して頂き、行事の円滑な遂行にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

【事前申し込み】

・取材を希望される方は、10月20日(金)12時までに電子メールにて事前申し込みをお願いいたします。

＜事前申し込み方法＞

メールの件名を「大野油坂道路開通式取材申込」とし、メール本文に①社名②参加人数③参加者の氏名(同行者含む)④ご連絡先(電話番号・メールアドレス)⑤駐車券の郵送先(住所・電話番号)⑥車両台数⑦車両ナンバー・車種・車色を記載の上、

kkf-info-fukui@mlit.go.jp までご送付ください。

【留意事項】

・当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用していただきますよう、お願いいたします。
・式典の進行上の都合により、内容・時間が変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。
・写真・VTR撮影は、所定の場所をお願いいたします。所定の場所以外での撮影はご遠慮下さい。
※撮影場所については、当日ご案内いたします。
・式典の進行に支障を及ぼしますので、開通式の関係者への直接的な取材はご遠慮下さいますようお願いいたします。

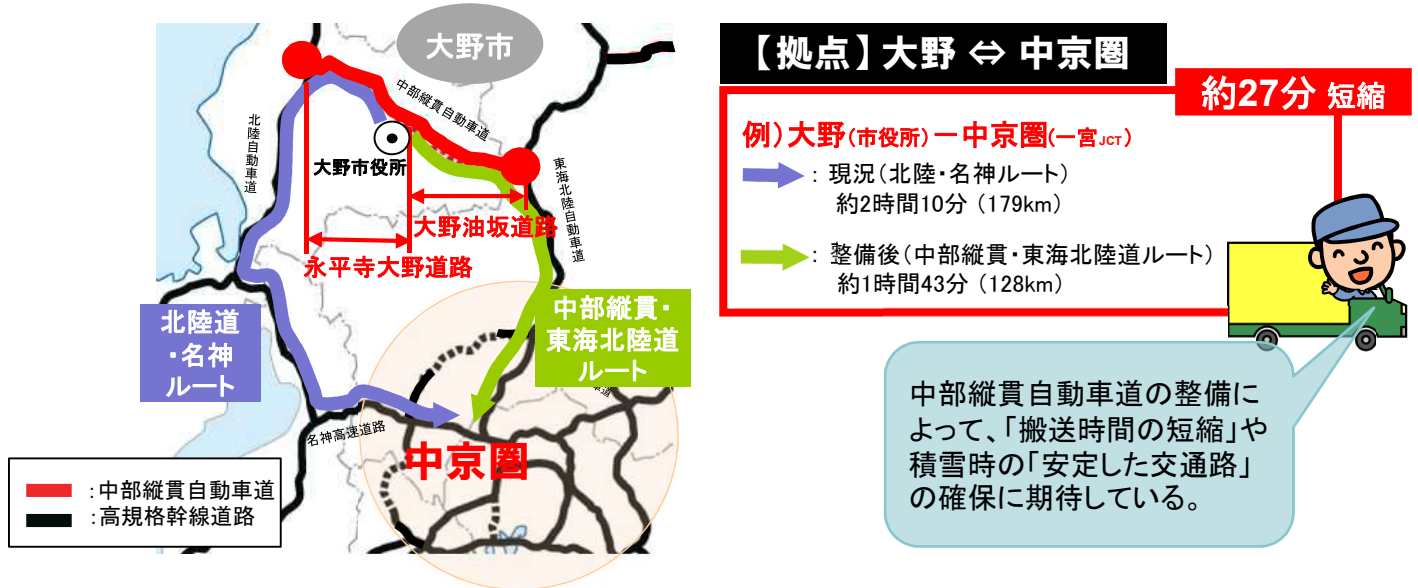
【お問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所
総務課 津田
TEL 0776-35-2661(代表)

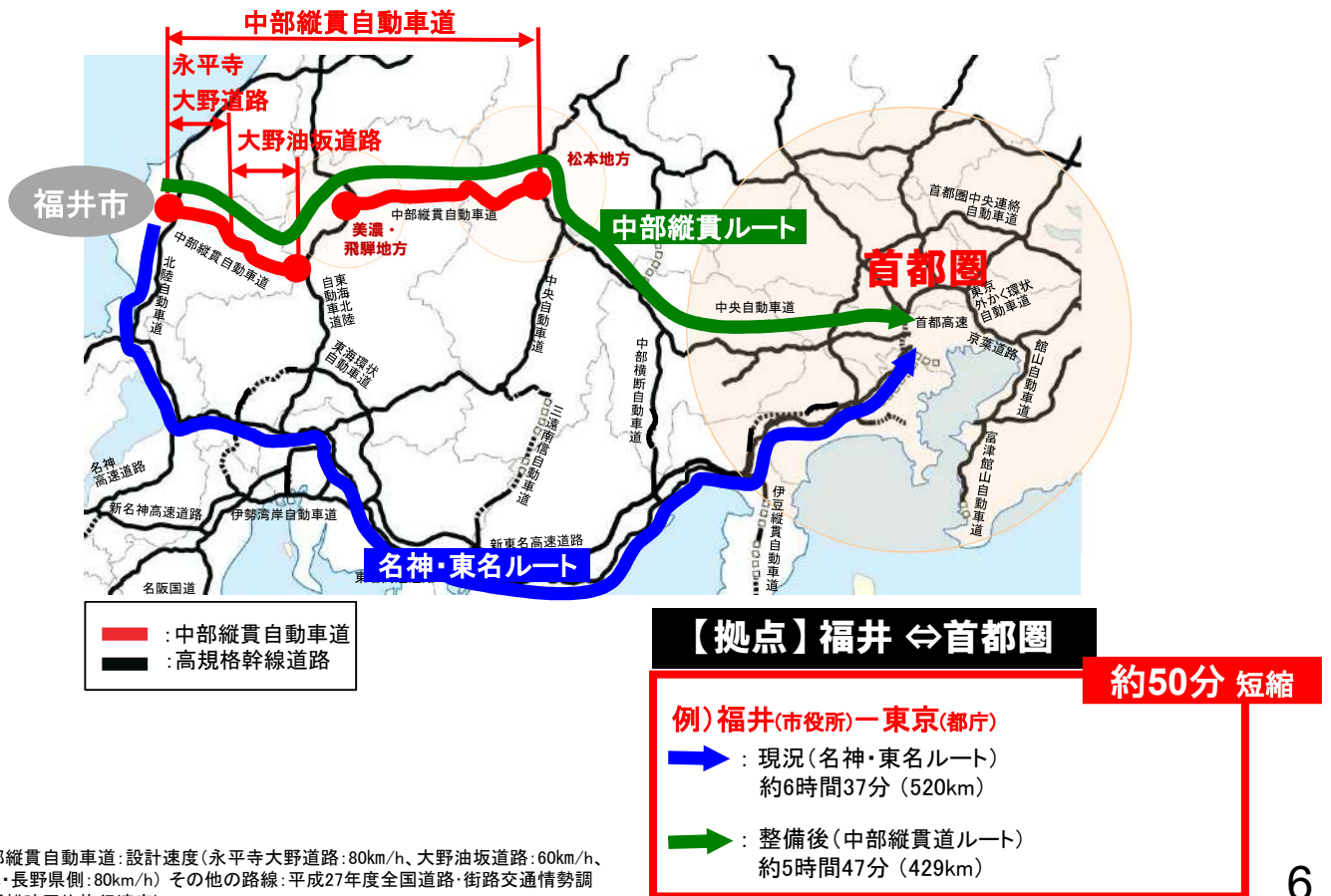
高速道路ネットワークの形成

- 中部縦貫自動車道の整備により、大野市と中京圏の新たな高速ルートが形成され、物流搬送等の信頼性が向上。
- 既存ネットワーク(東海北陸自動車道、中央自動車道)を相互に連絡する高速道路ネットワークが新たに形成され、福井市と首都圏とのアクセスが大幅に向上。

中京圏との新たな高速ルートの形成



高速ネットワークの形成による拠点アクセス性の向上



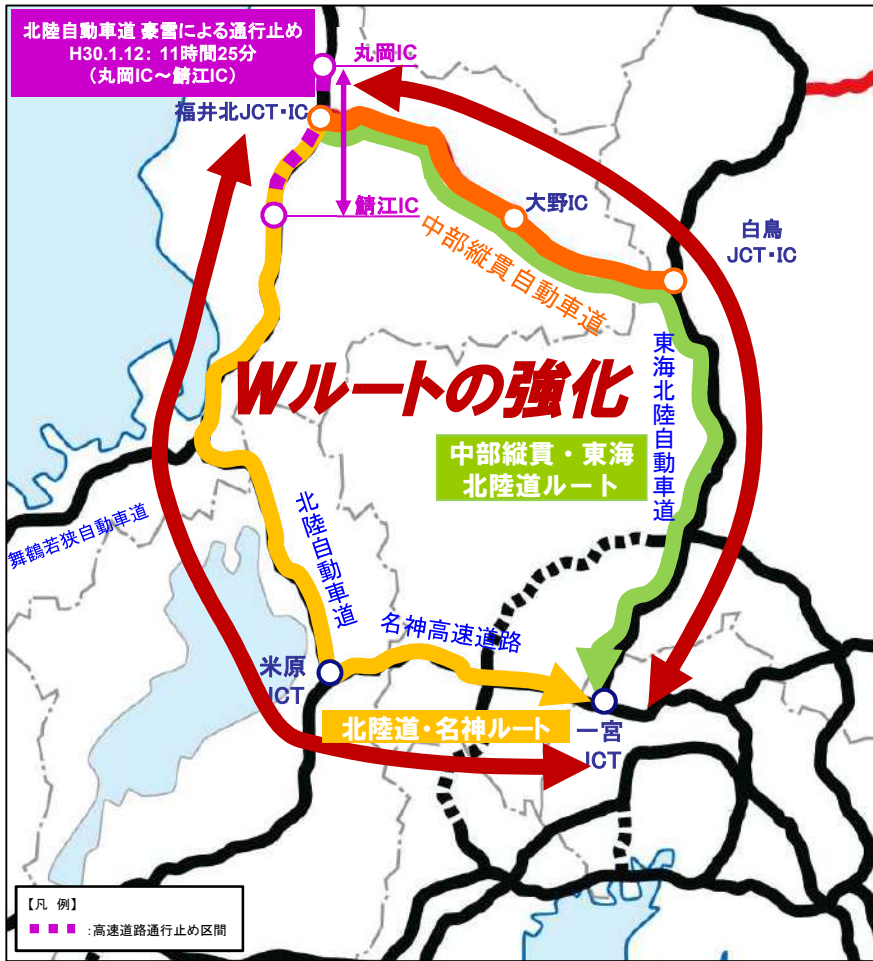
出典: 中部縦貫自動車道: 設計速度(永平寺大野道路: 80km/h、大野油坂道路: 60km/h、岐阜・長野県側: 80km/h) その他の路線: 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(混雑時平均旅行速度)

※中部縦貫自動車道全線開通による整備効果

災害時の代替路の確保

- 北陸自動車道では、豪雨や豪雪等による通行止めが、過去5年間で184回発生している。
- 中部縦貫自動車道の整備により、北陸自動車道が通行止めとなった場合、中部縦貫自動車道～東海北陸自動車道経由のルートが機能することにより、災害時の代替路が確保される。

豪雪(H30.1.12)による高速道路の通行止め状況



◆Wルート化による信頼性向上(過去5年:H30-R4)

▼北陸道と東海北陸道の通行止め実績

通行止め (上下線別)	単独通行止め		同時通行止め	
	北陸道	東海北陸道	北陸道・東海北陸道	
全事象	回数(回/5年)	184	162	14(4%)
	時間(時間/5年)	2,210	1,916	116(3%)
豪雪	回数(回/5年)	42	24	6(9%)
	時間(時間/5年)	530	365	33(4%)

()内の数値は、北陸自動車道・東海北陸自動車道の通行止めのうち同時通行止めの割合

**北陸自動車道、東海北陸自動車道の単独通行止めの実績に比べ
同時通行止めの実績は少ない**

※通行止め回数・時間:H30～R4における北陸自動車道(福井北JCT-IC～米原JCT)、東海北陸自動車道(白鳥JCT-IC～一宮JCT)間の通行止め事象を集計
全事象:異常気象(豪雪を含む)、事故、工事、その他(車両火災など)

出典:中日本高速道路株式会社、金沢支社 調べ

【参考】

平成30年1月12日の大雪により、北陸自動車道が通行止め。
(中部縦貫自動車道(福井北JCT-IC～大野IC)、東海北陸自動車道は通行止めなし。)

【通行止めの影響を受けた利用者の声】

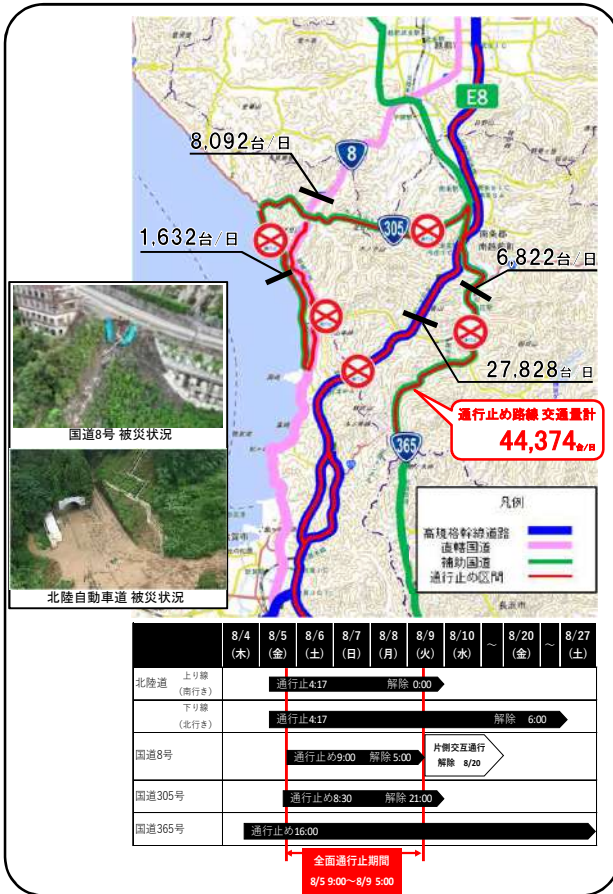
- ・生産には今のところ影響がないが、新潟や石川で12日の納品に遅れが生じている(洗剤・化粧品製造業者)
- ・観光客などから当日の予約キャンセルが30件ほど来ている。(ホテル・旅館業者)

平成30年1月13日新聞記事より抜粋

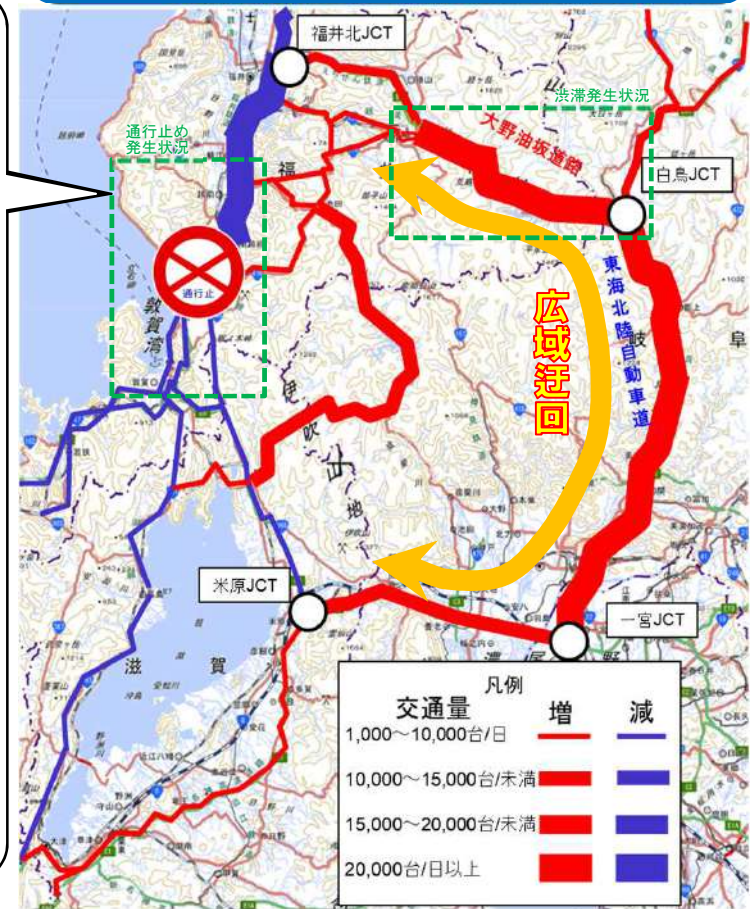
災害時の代替路の確保

- R4.8豪雨時の被災により、北陸道・国道8号など日本海側の全てのルートが約4日間にわたり通行止めが発生。
- 日本海側ルートが全面通止め期間中、迂回交通の集中により広域迂回路となった現国道158号では渋滞が発生。
- 大野油坂道路、冠山峠道路開通後に同様の災害による通行止めが発生した場合の経済効果(試算)は約31億円(4日間)
(将来交通量推計※と現況による走行時間短縮・走行経費減少便益の差)
※日本海側ルート通行止め

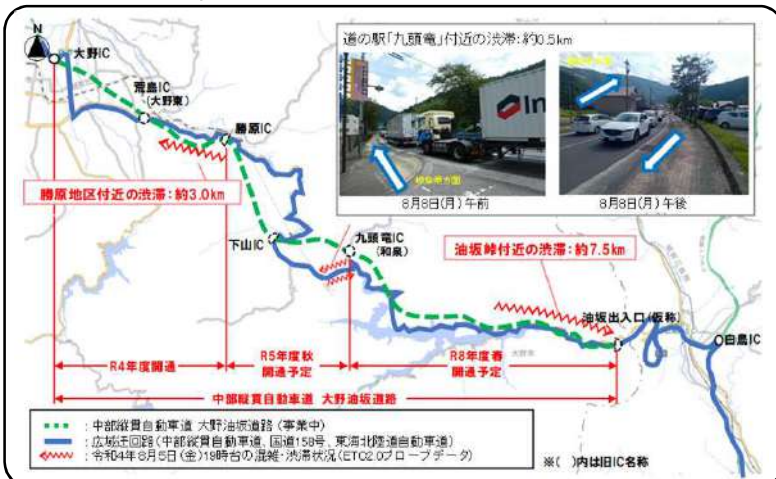
R4通行止め発生状況と平常時交通量 (H27センサス)



大野油坂道路等全線開通時の広域迂回イメージ (日本海側ルート通行止めあり)



大野油坂道路 並行現道における 迂回交通の増加による渋滞発生状況 (R4.8/5~8/9)



広域迂回交通(4日間)による便益(試算)

便益項目	総便益(億円/4日間)		便益差 (億円/4日間)
	現況※1	将来※2	
走行時間短縮	1,413.0	1,441.3	28.3
走行経費減少	256.2	259.7	3.5
合計	1,669.2	1,701.0	31.8

※1 永平寺大野道路(2車線)、油坂峠道路のみ整備、冠山峠道路整備なし
 ※2 中部縦貫自動車道は全線整備、冠山峠道路整備あり

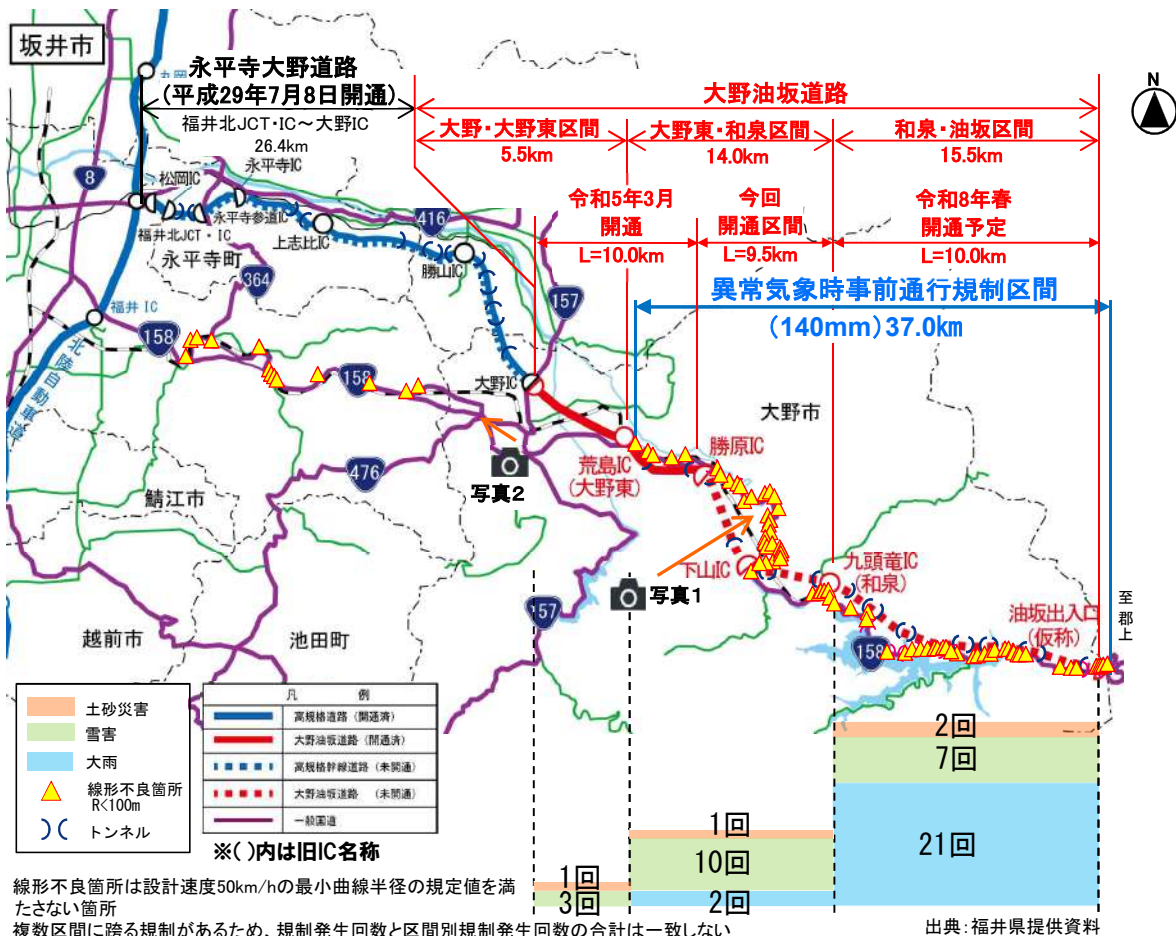
物流面での影響【福井県トラック協会ヒアリング結果】

- ・ 荷主の指示で、片道5~6時間かけて運行していた。
- ・ **ドライバーの拘束時間が改善基準告示の最大16時間を超えてしまった。**

異常気象時の交通の確保

- **大野油坂道路**と並行する国道158号は、過去10年間で大雨、積雪、土砂災害等による通行止めが異常気象時事前通行規制区間を中心に35回発生。※2
- また、**大野油坂道路**区間内には、線形不良箇所が74箇所存在する。
- **大野油坂道路**の整備により、異常気象時事前通行規制区間や平面線形の厳しい現道の通行を避けるとともに、事業区間内における異常気象時の交通の確保が期待される。

国道158号の自然災害による通行止め回数(H25年度～R4年度)



雪崩・道路冠水の状況



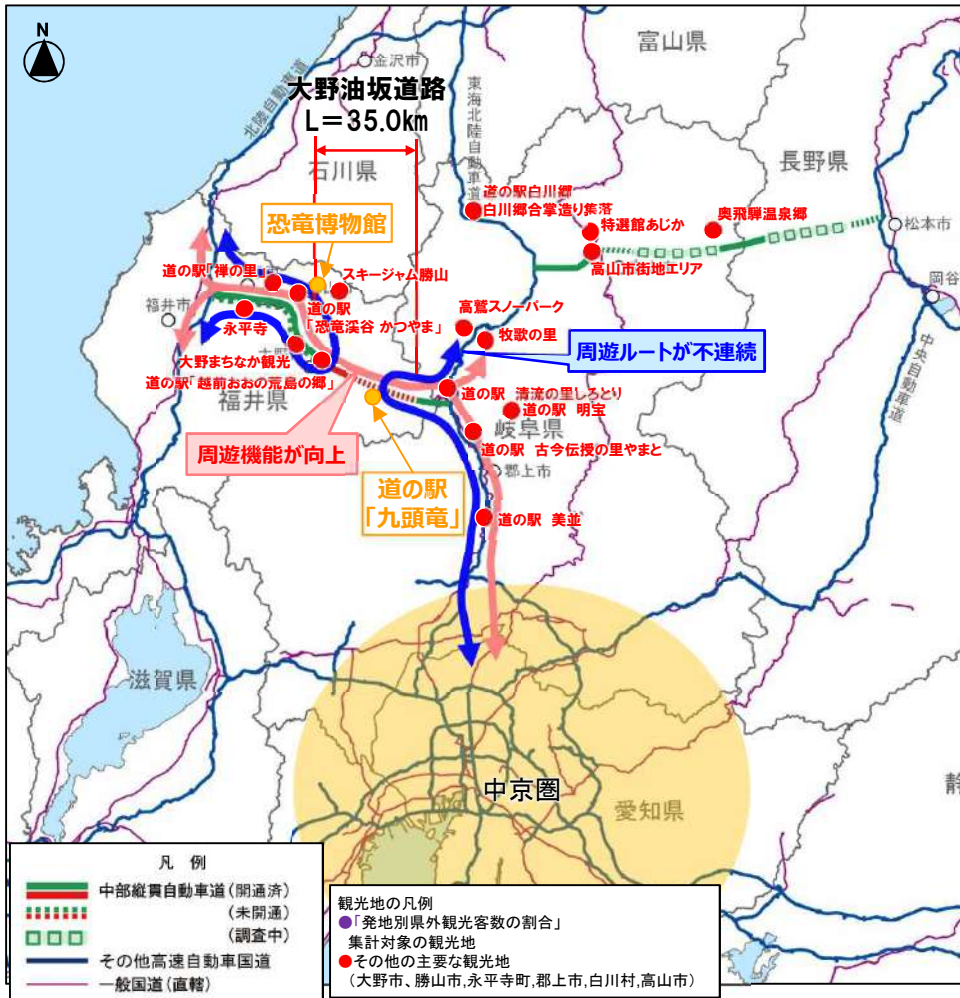
H30.2.3撮影(写真1)



H30.7.5撮影(写真2)

観光周遊機能の向上

- 中部縦貫自動車道(永平寺大野道路)の開通に伴い、沿線地域の観光客数が大幅に増加。
- 永平寺大野道路沿線にある「恐竜博物館」は多方面から観光客が来訪している一方で、大野油坂道路沿線の「道の駅九頭竜」に訪れる観光客は中京地域に集中し、周遊コースが連続していない状況。
- 大野油坂道路の開通により、東西の周遊機能が向上し、沿線の観光施設等への観光客数の増加が期待。

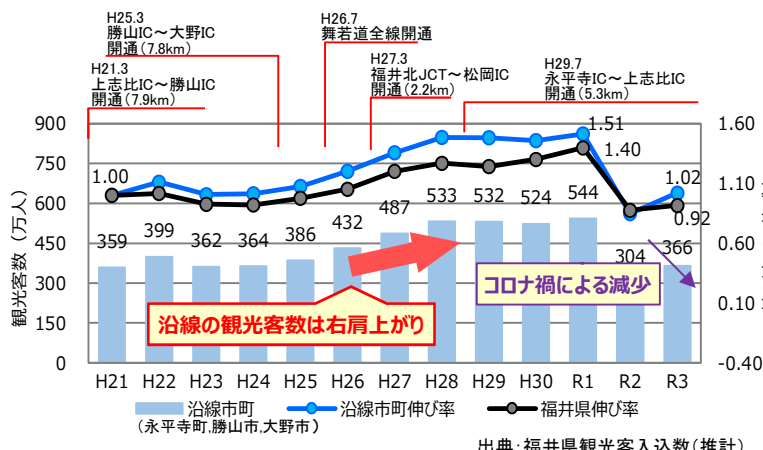


～道の駅の声～

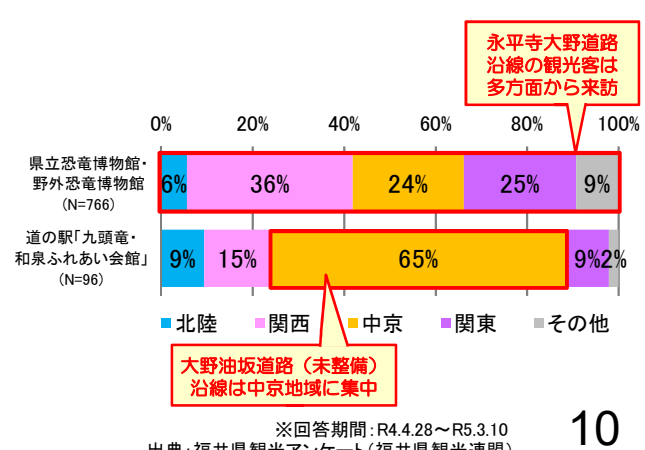
大野油坂道路の大野IC～勝原IC間が開通し、福井市や敦賀方面に向かう観光客の多くが大野油坂道路を利用していると聞いています。国道158号は交通事故が多い路線ですが、開通後に大きな事故が発生していません。また、所要時間短縮も実感しており、残りの区間が開通すると、福井～岐阜・名古屋の行き来が容易になるため、日帰り観光や周遊観光が活性化し、観光客の増加に期待しています。

出典：ヒアリング調査(道の駅九頭竜 R5年5月)

観光客数の推移

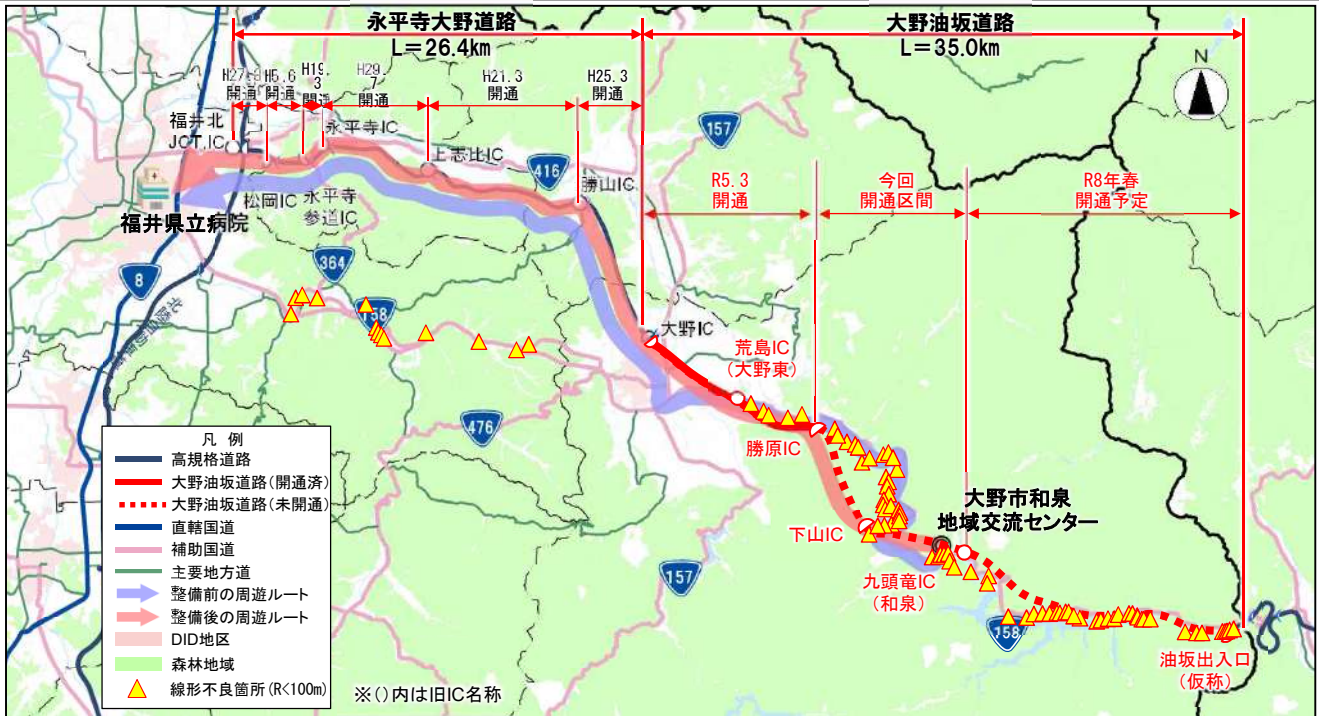


発地別県外観光客数の割合

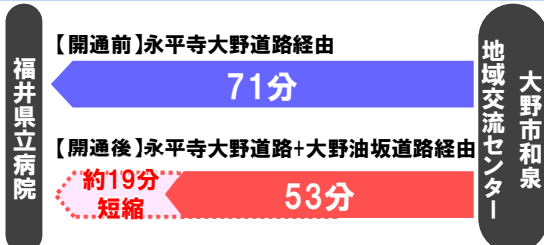


高度医療機関へのアクセス向上

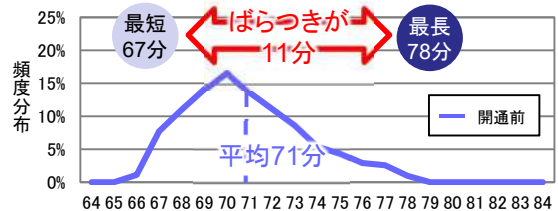
- **大野市和泉地域交流センター**から第三次救急医療施設の**福井県立病院**には、**永平寺大野道路**を利用して救急搬送。
- **大野油坂道路**の開通により、搬送時間の短縮、定時性の確保、走行時の揺れの減少による患者、救急隊員の負担軽減が期待。



大野市役所和泉支所～福井県立病院間の搬送時間とばらつき



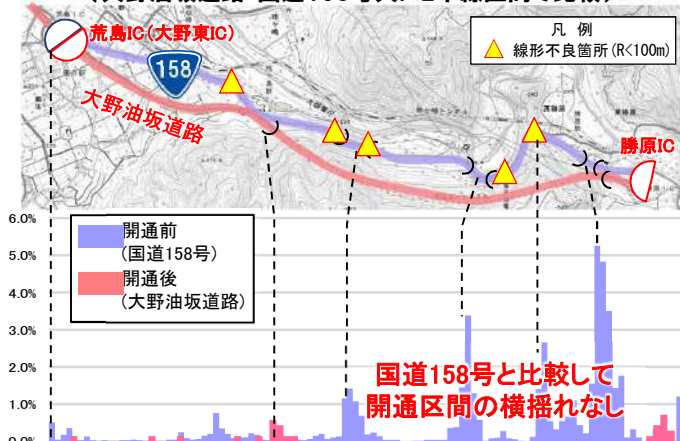
【出典】開通前：ETC2.0プローブデータ(R4.9-11平日・昼間12時間)
※開通後の大野油坂道路は60km/hで計算



【出典】ETC2.0プローブデータ(R4.9-11平日・昼間12時間)
※集計期間における15分時間帯別平均所要時間の積み上げにより算定
※上下5%は特異値として除外

荒島IC～勝原IC間の横揺れ発生頻度

(大野油坂道路・国道158号共に2車線区間で比較)



路線	横揺れ回数(回)	サンプル数(台)	発生頻度
国道158号	1,182	4,744	24.9%
大野油坂道路	25	1,894	1.3%

約24%低減!

※横揺れ回数：横加速度±0.25G発生回数

※横揺れ発生頻度＝横揺れ回数/ETC2.0走行サンプル数

【出典】ETC2.0プローブデータ 7～18時台
(開通前：R4.4平日、開通後：R5.4平日)

～消防署の声～

大野IC～勝原IC間の開通により、国道158号に比べてカーブ区間が減少し、幅員も広く走り易くなったため、傷病者の負担が減少しています。残りの区間についても開通により、傷病者への負担軽減、救急隊が安定して救急処置を行えることに期待しています。



出典：ヒアリング調査(大野市消防本部 R5年5月)